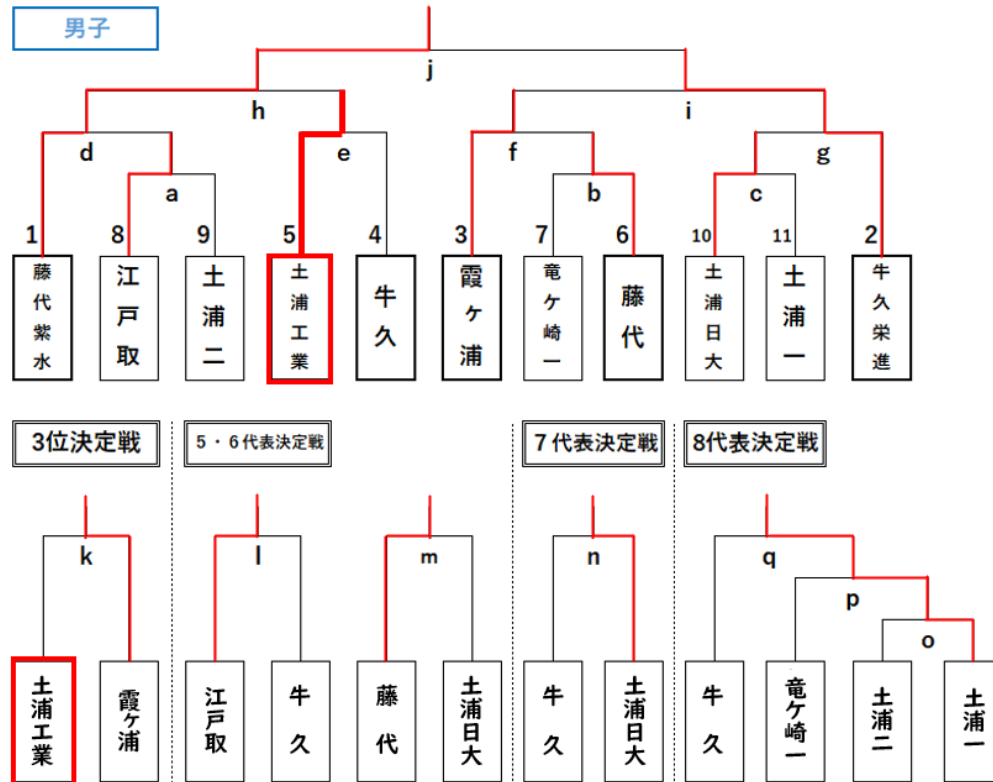


令和5年度 ハンドボール高等学校新人大会 結果詳細

【県南地区大会】



(1) 初戦(e) VS 牛久 30対18 勝利

前大会（ジュニア大会）の3位決定戦で延長戦にもつれ込み、惜しくも敗北を喫した牛久高校との再戦となった。引退した1つ上の学年の先輩たちも悔しい思いをさせられた因縁の相手。組合せが決まった瞬間から、リベンジを果たすために対策を立てて臨んだ。

試合は前半から、石塚を中心に中央を固めた守備で相手の得点を許さない。マイボールにして速い展開に持ち込み、WGの飯村、稲葉の速攻で得点を重ねる。セットオフェンスではCBの須鎌が得点を量産した。前半で19対8と引き離し、試合を決定づけた。後半は一進一退の展開となったが、最終スコア 30 対 18として雪辱を果たし、準決勝進出を決めた。

(2) 準決勝(h) VS 藤代紫水 12対49 敗北

準決勝の相手は、県内絶対王者の藤代紫水高校。この試合の目標は「1人1得点」と「得点後の相手のリスタートを抑える」の2つ。力の差があるチームに対して、明確な目標をもって試合に臨んだ。

紫水の速く強いOFに対して、粘り強く足を動かしDFを行った。また、OFではLBの小松が積極的にシュートを狙い遠目からのシュートで複数得点。大量得点差をつけられたものの、全国トップクラスのチームから2桁得点を奪ったOFは素晴らしかった。

(3) 3位決定戦(j) VS 霞ヶ浦 14対31 敗北 (県南新人4位)

この日の2試合目、1年生大会では合同チームを組んでいた霞ヶ浦高校との3位決定戦に臨んだ。

前半はロースコアの展開になったが、霞ヶ浦高校の速く正確な平行アタックを抑えることができず、6対12で折り返した。後半、準決勝からの連戦で披露がピークに達し、両WGが足を攣り交代。最後まで元気に走りぬいた霞ヶ浦高校に引き離され、14対31で敗戦、新人戦は4位となった。

【県大会】

(1) 初戦 VS 藤代紫水 6対51 敗北 (初戦敗退)

地区大会での対戦から、再度「1人1得点」を目標にして再戦。前回よりも厳しいDFにより、得点数は半減した。目標としていた1人1得点は達成できなかったが5人が得点を記録、RWGの稲葉が2得点を挙げた。

力の差は非常に大きい、そのパワーとスピードを直に感じる事ができたのは貴重な経験となった。すこしでも近づけるように、厳しい冬のトレーニングに取り組み、春を迎えたい。